

## 公開情報資料

整理番号		2025. 10-5
研究課題名		食道亜全摘後の有茎胃管 R-Y 再建の有用性～術後栄養指標の検討～
研究期間		2016 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日
研究目的		食道亜全摘後の再建方法は様々な方法がある。当院では 2016 年より、有茎胃管 R-Y（山岸式）再建を基本手技として行っている。そこで、本法の手術成績と術後栄養指標を後方視的に検討し、その有用性を明らかにする。
研究方法	研究対象範囲	2016 年 1 月から 2025 年 5 月までに当院で食道亜全摘術および頸部有茎胃管 R-Y 再建を行った 35 例を対象とした。
	利用する情報等	年齢、性別、術式、手術時間、出血量、手術方式、術後合併症、術後在院日数、再発率、生存率、体重、食事量、採血データなど
	利用方法	電子カルテより抽出
	他機関への提供	なし
研究責任者		岡山赤十字病院 上部消化管外科 赤井正明
問合せ先		岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。